

12 2016年の通商関連の主な動き

月日	主な動き	内容・決定事項など
1 4	第190回国会召集(常会)	通常国会の1月召集が決まった1992年以降で最も早い召集。
5	15年登録車販売台数(速報)【日本自動車販売協会連合会】	315.0万台(前年比▲4.2%)、乗用車の台数が伸びず2年ぶりの減少。
6	北朝鮮、「水爆実験」の実施を発表	国連安保理は制裁措置検討の即時開始を表明。
8	15年輸入車新規登録台数(速報)【日本自動車輸入組合】	32.9万台(前年比▲2.2%)。
8	15年末外貨準備高	1兆2,332億1,400万ドル(前年比▲273億3,400万ドル)。
12	米オバマ大統領、一般教書演説	新たな統規制強化策の策定や移民制度改革に取り組むことを表明。雇用対策としてTPPの早期承認を議会に訴える。
13	米FRB、ベージュブック(地区連銀経済報告)	多くの地区で景気改善が続くも製造業に弱さがみられる、と指摘。
13	中国、15年貿易統計	輸出は2兆2,765億ドル(前年比▲2.8%)、輸入は1兆6,820億ドル(同▲14.1%)、貿易総額は3兆9,586億ドル(同▲8.0%)。
16	アジアインフラ投資銀行(AIIB)、開業	欧州やアジアなどから57カ国が加盟し、史上初の中国主導による国際金融機関が開業。日米は参加見送り。
19	15年訪日外国人人数【国際観光振興機構】	1,973.7万人(前年比+47.1%)、過去最高であった14年の記録より600万人余り増加。同機構が統計を取り始めた1964年以降最大の伸び率で、45年ぶりに訪日外国人人数が出国日本人数を上回る。
19	15年工作機械受注額(確報)【日本工作機械工業会】	1兆4,805億9,200万円(前年比▲1.9%)、過去3番目の高水準。
19	中国、15年GDP	+6.9%、前年を0.4ポイント下回り25年ぶりの低水準。
20	15年度補正予算成立	総額3兆3,213億円。低所得の高齢者に1人当たり3万円を配る臨時給付金や「1億総活躍社会」実現に向けた緊急対策費などを盛り込む。
20	15年度大学生就職内定率	16年春卒業予定者の内定率80.4%(15年12月1日時点、前年同期比0.1ポイント増)。
20	月例経済報告	「景気は、このところ一部に弱さもみられるが、緩やかな回復基調が続いている」
20	世界経済フォーラム年次総会(～23日、スイス・ダボス)	主要テーマは「mastering the fourth industrial revolution」。中国経済の動向、人工知能やロボットの活用、難民問題などについて議論。
21	ECB、政策金利	0.05%。
22	15年粗鋼生産量【日本鉄鋼連盟】	1億515万トン(前年比▲5.0%)、3年ぶりの減少。
25	15年貿易統計(速報)	輸出は75兆6,316億円(前年比+3.5%)と3年連続の増加、輸入は78兆4,637億円(同▲8.7%)と6年ぶりの減少、貿易収支は▲2兆8,322億円の赤字。原油安により輸入額が減少し、赤字額は前年より約10兆円縮小。
25	15年薄型テレビ国内出荷台数【電子情報技術産業協会】	512.2万台(前年比▲6.7%)、台数は減少するも金額はほぼ横ばい。
25	15年世界粗鋼生産量【世界鉄鋼協会】	16億2,280万トン(前年比▲2.8%)、6年ぶりの減少。
25	ロシア、15年GDP(速報)	▲3.7%、ウクライナ紛争をめぐる制裁と原油安により、09年以降で最低の水準に。

月日	主な動き	内容・決定事項など
1 26	米、FOMC(連邦公開市場委員会、～27日)	政策金利(フェデラル・ファンド・レート)の誘導目標を年「0.25～0.50%」に据え置くことを決定、米国経済の現状認識とインフレ期待を下方修正。
28	日銀、金融政策決定会合(～29日)	2%の「物価安定の目標」早期実現のため、「マイナス金利付き量的・質的金融緩和」の導入を決定。具体的には、金融機関が保有する日本銀行当座預金に▲0.1%のマイナス金利を適用すること、マネタリーベースが年間約80兆円のペースで増加するよう金融市場調節を行うこと、長期国債の保有残高が年間約80兆円のペースで増加するよう買い入れを行うことなど。
29	15年国内自動車生産台数【日本自動車工業会】	四輪車は927.8万台(前年比▲5.1%)、2年ぶりの減少。
29	15年自動車輸出台数【日本自動車工業会】	四輪車は457.8万台(前年比+2.5%)、3年ぶりの増加。うち乗用車は397.0万台(同+3.5%)。
29	15年新設住宅着工戸数	90.9万戸(前年比+1.9%)、2年ぶりの増加。
29	15年12月完全失業率(速報)	3.3%。
29	15年平均の完全失業者数(速報)	222万人(前年比▲14万人)、6年連続の減少。
29	米、15年GDP(速報)	+2.4%。
30	日銀、1月展望レポート	実質GDP成長率は16年度+1.5%と上方修正、17年度+0.3%と据え置き。
2 1	米、15年個人消費支出	+3.1%。
1	世界保健機関、ジカ熱で緊急事態宣言	蚊が媒介する感染症「ジカ熱」に関し、妊婦が感染すると「小頭症」の新生児が生まれる疑いがあるとして、「国際的に懸念される公衆衛生上の緊急事態」を宣言。
4	環太平洋経済連携協定(TPP)参加12カ国、協定文に署名(ニュージーランド・オークランド)	15年10月に大筋合意した協定文に参加各国が署名、発効に向けて国内手続きを本格化。
5	米、15年貿易収支	貿易赤字は▲5,315億300万ドル(前年比+4.6%)。
8	15年国際収支統計(速報)	経常黒字16兆6,413億円(前年比約6.3倍)と大幅に拡大。貿易・サービス収支が赤字幅を縮小し、第一次所得収支が黒字幅を拡大したことなどから、5年ぶりの高水準に。
9	14年度国民健康保険納付率	90.95%(前年度比+0.53%)、5年連続で改善。
9	米オバマ大統領、17会計年度予算教書発表	歳入約3兆4,770億ドル、歳出約4兆890億ドル、財政赤字5,030億ドル(対GDP比2.6%)。財政状況は引き続き改善し、26年度にかけて財政赤字対GDP比が2.3～2.8%未満に抑えられる見通し。
10	15年末時点の国の借金	債務残高総額1,044兆5,904億円、前回公表の15年9月末に比べ9兆8,340億円減少。
12	ユーロ圏19カ国、15年GDP	+1.5%、4年ぶりの高い伸び率。
15	15年GDP(速報)	実質+0.4%、名目+2.5%。
17	15年機械受注統計	28兆6,066億円(前年比+2.6%)。
18	16年1月貿易統計(速報)	貿易収支は▲6,459億円と2カ月ぶりの赤字。
25	月例経済報告	「景気は、このところ一部に弱さもみられるが、緩やかな回復基調が続いている」
26	G20財務大臣・中央銀行総裁会議(～27日、中国・上海)	「世界経済の回復には依然としてばらつきがある」とし、経済成長の実現と市場の安定に向け「全ての政策手段を用いる」ことで一致。

月日	主な動き	内容・決定事項など
2	26 米、15年 GDP (2次速報)	+2.4%。
3	1 16年度予算案、衆院通過	一般会計総額 96兆7,218億円と過去最大。3月29日、参院本会議で可決、成立。
	5 中国、第12期全国人民代表大会第4回会議(～16日)	20年までの毎年の経済成長率目標を「約6.5～7%」に引き下げる「第13次5ヵ年計画」を承認して閉幕。
	8 15年 GDP (2次速報)	実質+0.5%、名目+2.5%。
	10 ECB、政策金利	0.00%。
	14 日銀、金融政策決定会合(～15日)	金融政策の現状維持を決定。
	15 米、FOMC(～16日)	政策金利の据え置きを決定、米国景気は「緩やかなペースで拡大した」と表明。
	17 米、15年経常収支	経常赤字4,840億7,800万ドル(前年比+24.3%)と7年ぶりの高水準。
	18 15年度大学生就職内定率	16年春卒業予定者の内定率87.8%(16年2月1日時点、前年同期比1.1ポイント増)。
	22 16年1月1日時点の公示地価	全国平均(全用途)は前年比+0.1%と、8年ぶりにプラスに転じる。
	23 月例経済報告	「景気は、このところ弱さもみられるが、緩やかな回復基調が続いている」
	23 ベルギー、連続爆破テロ	ブリュッセルの国際空港で2度の爆発、約1時間後にブリュッセル中心部地下鉄の駅で爆発があり、30人以上が死亡、負傷者多数。「ISILベルギー」が犯行声明。
	25 米、15年 GDP (確定)	+2.4%。
	27 民進党旗揚げ	民主党と維新の党による新党「民進党」が156人で旗揚げ。
	29 安全保障関連法施行	他国を武力で守る「集団的自衛権」の行使が可能に。
31 日米首脳会談(ワシントンDC)	安倍首相、辺野古埋め立て承認に関する訴訟について「辺野古への移設が唯一の解決策とする立場は不変」と表明。	
31 日米韓首脳会談(ワシントンDC)	北朝鮮の核・ミサイル問題に関し、安全保障分野で緊密に連携していくことを確認。	
31 日韓首脳会談(ワシントンDC)	慰安婦問題に関する日韓合意を着実に実施し、日韓関係を発展させることで合意。	
4	1 日銀、3月全国企業短期経済観測調査(短観)	業況判断指数(DI)は、円高や新興国経済の減速により大企業・製造業で+6と昨年12月から6ポイント悪化、大企業・非製造業は+22と同3ポイント悪化。
	6 15年度輸入車新規登録台数(速報)【日本自動車輸入組合】	32.7万台(前年度比+0.8%)、うち外国メーカー車28.2万台(同+0.1%)。
	10 G7外相会合(～11日、広島)	核兵器のない世界を目指す「広島宣言」、難民問題やテロに連携して対応する共同声明などを採択。各国外相が平和記念公園を訪れ、原爆死没者慰霊碑に献花。
	12 15年度工作機械受注額(速報)【日本工作機械工業会】	1兆3,988億8,100万円(前年度比▲11.4%)、3年ぶりの減少。
	12 IMF世界経済見通し(春季)	世界経済の実質GDP成長率は16年+3.2%、17年+3.5%、長引く低成長により世界経済は様々なりスにさらされていると警告。16年の日本は+0.5%、17年は▲0.1%。
	14 熊本地震	21時26分頃、熊本県熊本地方を震源とするマグニチュード6.5、最大震度7(益城町)の地震が発生。16日未明の「本震」ではマグニチュード7.3、最大震度7の揺れを観測。

月日	主な動き	内容・決定事項など
4	14 G20財務大臣・中央銀行総裁会議(～15日、ワシントンDC)	世界経済の見通しには不確実性が残るとし、経済成長の実現と市場安定に向け「全ての政策手段を用いる」ことを再確認。
	15 中国、1～3月期 GDP (前年同期比)	+6.7%、前期比0.1ポイント減。
	16 エクアドル地震	沿岸部ムイスネ近郊を震源とするマグニチュード7.8の地震が発生、コリア大統領は非常事態を宣言。
	20 15年度貿易統計(速報)	原油安の影響で輸入額が減少し、貿易赤字1兆792億円(前年度比▲88.2%)と大幅に縮小。
	20 15年度粗鋼生産量【日本鉄鋼連盟】	1億417.6万トン(前年度比▲5.2%)、リーマン・ショック後の09年度以来の低水準。
	21 月例経済報告	「景気は、このところ弱さもみられるが、緩やかな回復基調が続いている」
	21 ECB、政策金利	0.00%。
	26 15年度国内パソコン出荷台数【電子情報技術産業協会】	出荷台数711.1万台(前年度比▲22.6%)、うちデスクトップ型175.3万台(同▲32.1%)、ノート型535.8万台(同▲18.9%)。
	26 米、FOMC(～27日)	政策金利の据え置きを決定。
	27 日銀、金融政策決定会合(～28日)	金融政策の現状維持、および熊本地震被災地の金融機関を対象に被災地金融機関支援オペ(貸付総額3,000億円、無利息)などの措置導入を決定。
	28 15年度新設住宅着工戸数	92.1万戸(前年度比+4.6%)、2年ぶりの増加。
28 米、1～3月期 GDP (速報、季調済、前期比)	+0.5%。	
29 日銀、4月展望レポート	実質GDP成長率は16年度+1.2%、17年度+0.1%と、いずれも下方修正。	
5	6 日露首脳会談(ロシア・ソチ)	「新しいアプローチ」で平和条約締結交渉を進めることで一致、安倍首相が経済分野における「8つの項目からなる協力プラン」を提示、プーチン大統領は賛意を表明。
	10 15年度末の国の借金	債務残高総額1,049兆3,661億円(前年度末比▲3兆9,911億円)。
	12 15年度国際収支統計(速報)	経常黒字は17兆9,752億円と2年連続の増加、貿易収支は+6,299億円と黒字に転化。
	13 ユーロ圏19カ国、1～3月期 GDP(前期比)	+0.5%。
	17 16年度補正予算成立	「熊本地震復旧等予備費」の7,000億円を含む総額7,780億円。仮設住宅建設などに使う災害救助費も盛り込む。
	18 15年度 GDP (速報)	実質+0.8%、名目+2.2%。
	19 エジプト旅客機墜落	パリ発カイロ行きのエジプト航空804便が地中海に墜落、乗員・乗客66人が死亡。
	20 蔡英文氏、台湾総統に就任	8年ぶりの政権交代で、台湾独立志向をもつ民主進歩党主席の蔡英文氏が初の女性総統に。
	23 月例経済報告	「景気は、このところ弱さもみられるが、緩やかな回復基調が続いている」
	23 15年合計特殊出生率	前年を0.04ポイント上回る1.46と2年ぶりに上昇、1994年以来の高水準。

月日	主な動き	内容・決定事項など
5	25 日米首脳会談（伊勢志摩）	安倍首相、沖縄での元米兵による女性死体遺棄事件についてオバマ大統領に強く抗議、オバマ大統領は遺憾の意を表明。沖縄の負担軽減に尽力することで一致。
	26 G7 伊勢志摩サミット（～27日）	世界経済の成長は依然として緩やかではばらつきがあり、下方リスクが高まってきているとし、危機を回避し世界経済を支えるため全ての政策手段を用いることを盛り込んだ首脳宣言を採択。
	27 米オバマ大統領、広島訪問	現職米大統領として初の広島訪問。平和記念資料館を視察後、同館に手製の折り鶴2羽を贈り、原爆死没者慰霊碑に献花。演説では「核なき世界」を主導する決意を改めて表明。
	27 米、1～3月期 GDP(2次速報、季調済、前期比)	+0.8%に上方修正。
6	1 安倍首相、消費増税の延期を表明	17年4月に予定していた消費税率10%への引き上げを、19年10月まで延期すると表明。
	1 OECD 経済見通し（春季）	16年の世界経済の実質 GDP 成長率を +3.0%と、前年11月見通しの +3.3%から下方修正。17年は +3.3%。
	2 ECB、政策金利	0.00%。
	7 世界銀行、世界経済見通し	16年の実質 GDP 成長率は世界 +2.4%、日本 +0.5%、米 +1.9%、ユーロ圏 +1.6%。
	8 15年度 GDP（2次速報）	実質 +0.8%、名目 +2.2%。
	14 米、FOMC（～15日）	政策金利の据え置きを決定、米国経済の現状認識を上方修正。
	15 日銀、金融政策決定会合（～16日）	金融政策の現状維持を決定。
	17 月例経済報告	「景気は、このところ弱さもみられるが、緩やかな回復基調が続いている」
	19 改正公職選挙法施行	選挙権年齢が「20歳以上」から「18歳以上」に引き下げられ、約240万人が新たに有権者となる。参政権の拡大は71年ぶり。
	21 舛添要一東京都知事、辞職	政治資金の私的流用疑惑などの責任を取り辞職。
	21 通商白書2016年版	副題「世界の新たなフロンティアに挑戦する日本」。
	23 英、EU 離脱を問う国民投票	離脱52%、残留48%で離脱が確実に。残留派のキャメロン首相は24日に辞意を表明。
	28 米、1～3月期 GDP（確定、季調済、前期比）	+1.1%に上方修正。
	28 トルコ、空港テロ	アタチュルク国際空港で乱射と自爆によるテロが発生、45人が死亡、負傷者230人以上。
30 ロドリゴ・ドゥテルテ氏、比大統領に就任	就任後3ヵ月以内の「犯罪一掃」を訴える。	
7	1 日銀、6月全国企業短期経済観測調査（短観）	業況判断指数（DI）は大企業・製造業で +6と3月から横ばい。大企業・非製造業は +19と同3ポイント悪化。
	1 16年分路線価	全国平均は前年比 +0.2%、東京・大阪・愛知など14都道府県で上昇し8年ぶりのプラスに。
	1 バングラデシュ、レストラン襲撃テロ	首都ダッカで武装集団がレストランを襲撃、外国人客を人質にとり立てこもる。10時間後に治安部隊が突入し制圧するも、日本人7人を含む人質20人が死亡。

月日	主な動き	内容・決定事項など
7	6 16年上半期輸入車新規登録台数（速報）【日本自動車輸入組合】	17.0万台（前年同期比 +1.9%）、うち外国メーカー車は14.6万台（同 +0.6%）。
	10 第24回参院選	選挙権の年齢が18歳以上に引き下げられてから初の国政選挙。自民・公明両党は改選過半数を上回る69議席を獲得。
	13 テリーザ・メイ氏、英首相に就任	保守党党首のメイ氏、故サッチャー氏以来26年ぶり、史上2人目の女性首相に。
	14 フランス、トラック暴走テロ	南部の観光地ニースで大型トラックが遊歩道を約2キロ暴走した後、銃を乱射。84人が死亡。
	15 トルコ、クーデター未遂	エルドアン大統領に不満を持つ軍の一部勢力が政権転覆を試みるも、翌日鎮圧される。
	15 中国、4～6月期 GDP（前年同期比）	+6.7%、1～3月期から横ばい。
	17 国立西洋美術館、世界遺産に	同館を含む「ル・コルビュジエの建築作品」7カ国17作品が世界遺産に決定、日本の世界遺産としては20件目。
	21 ECB、政策金利	0.00%。
	23 G20 財務大臣・中央銀行総裁会議（～24日、中国・成都）	英国のEU 離脱決定により増大した世界経済の不確実性を抑え、持続可能で強固な経済成長を達成するため、全ての政策手段を用いることを再確認。
	25 16年上半期貿易統計（速報）	貿易収支は1兆8,142億円と11期ぶりの黒字、輸出は34兆5,183億円（前年同期比▲8.7%）と2期連続の減少、輸入は32兆7,041億円（同▲17.2%）と3期連続の減少。
	25 月例経済報告	「景気は、このところ弱さもみられるが、緩やかな回復基調が続いている」
	26 米、FOMC（～27日）	政策金利の据え置きを決定、経済活動・労働市場・家庭消費の評価を上方修正。
	28 日銀、金融政策決定会合（～29日）	ETFの保有残高が年間約6兆円に相当するペースで増加するよう買い入れを行うこと、「成長支援資金供給・米ドル特則」の総枠を240億ドルに拡大すること、米ドル資金供給オペの担保となる国債の貸付け制度を新設することを決定。
	29 16年上半期自動車輸出台数【日本自動車工業会】	四輪車輸出台数218.9万台（前年同期比 +0.5%）、2年連続の増加。
	29 米、4～6月期 GDP（速報、季調済、前期比）	+1.2%。
	29 ユーロ圏19カ国、4～6月期 GDP（速報、前期比）	+0.3%。
	30 日銀、7月展望レポート	実質 GDP 成長率は16年度 +1.0%と下方修正、17年度 +1.3%と上方修正。
31 東京都知事選挙	投票率59.73%、元防衛相で無所属新人の小池百合子氏が当選。	
8	1 第191回国会召集（臨時会）	参院の正副議長を選出。
	2 経済財政白書2016年版	副題「リスクを越えて好循環の確立へ」。
	3 第3次安倍再改造内閣発足	19人中8人が初入閣、丸川珠代環境相を横滑りで五輪相に、稲田朋美氏を女性で2人目の防衛相に起用。
	5 リオ五輪（～21日）	南米初開催の五輪で日本勢は金12個、銀8個、銅21個と史上最多計41個のメダルを獲得。

月日	主な動き	内容・決定事項など
8	8 天皇陛下、お気持ちを表明	象徴としての務めなどについての考えを表明されたビデオメッセージの中で、「生前退位」の意向を強く示唆。
	8 16年上半期国際収支(速報)	経常収支は10兆6,256億円、前年同期より+2兆5,317億円。貿易・サービス収支が黒字に転化し、上半期では9年ぶりの高水準。
	15 4~6月期GDP(速報、季調済、前期比)	実質+0.0%、名目+0.2%。
	24 月例経済報告	「景気は、このところ弱さもみられるが、緩やかな回復基調が続いている」
	24 イタリア中部地震	ペルージャ付近でマグニチュード6.2の地震が発生、290人以上が死亡。
	26 米、4~6月期GDP(2次速報、季調済、前期比)	+1.1%に下方修正。
31 小池都知事、築地市場の移転延期を表明	「安全性」「巨額・不透明な費用」「情報公開の不足」の「3つの疑問点」が解消されないことから、11月7日に開場が予定されていた豊洲新市場への移転を延期。	
9	2 日露首脳会談(ロシア・ウラジオストク)	11月にペルー・リマで、12月に山口県長門市で再度首脳会談を行うことで一致。
	4 G20杭州サミット(~5日、中国・杭州)	世界経済の回復は継続しているが、依然として下方リスクが存在するとし、先見性、統合、開放性、包摂性に基づく政策と行動のパッケージ「杭州コンセンサス」を採択。
	5 日中首脳会談(中国・杭州)	「戦略的互恵関係」を推進し、偶発的な軍事衝突を防ぐ「海空連絡メカニズム」の早期運用開始に向けて協議を加速することで一致。
	7 日韓首脳会談(ラオス・ビエンチャン)	北朝鮮の弾道ミサイル発射を強く非難するとともに、日韓の緊密な連携を確認。昨年末に合意した慰安婦問題に関し、引き続き合意を誠実に実施していくことで一致。
	8 4~6月期GDP(2次速報、季調済、前期比)	実質+0.2%、名目+0.3%。
	8 ECB、政策金利	0.00%。
	9 北朝鮮、5度目の核実験	咸鏡北道吉州郡豊深里の実験場で実施、韓国国防省は「過去の核実験では最大規模」と発表。
	15 蓮舫氏、民進党新代表に	初回投票で過半数を獲得し就任。
	16 月例経済報告	「景気は、このところ弱さもみられるが、緩やかな回復基調が続いている」
	20 16年7月1日時点の基準地価	東京、大阪、名古屋の3大都市圏は商業地が前年比+2.9%、住宅地は同+0.4%。
	20 日銀、金融政策決定会合(~21日)	長短金利の操作を行う「イールドカーブ・コントロール」と、消費者物価上昇率の実績値が安定的に2%の「物価安定の目標」を超えるまでマネタリーベースの拡大方針を継続する「オーバーシュート型コミットメント」を含む、「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」の導入を決定。
	20 米、FOMC(~21日)	政策金利の据え置きを決定、経済見通しへの短期的なリスクが均衡していることから、「利上げの根拠が強まった」と明記。
	20 国連総会、一般討論演説(~26日、ニューヨーク)	安倍首相、北朝鮮の軍事的脅威に対する厳しい制裁措置の必要性を訴える(21日午後)。

月日	主な動き	内容・決定事項など
9	22 安倍首相、キューバ訪問(~23日)	日本の首相による初のキューバ訪問。ラウル・カストロ国家評議会議長と会談し、医療分野へ約12億7,000万円の無償資金協力を行うこと、日本からの投資拡大など経済関係を強化することなどで合意。
	23 天皇陛下の公務負担軽減などを検討する有識者会議設置	メンバーに政治学や歴史学の専門家など6人を起用、10月17日の初会合で経団連の今井敬名誉会長を座長に選出。
	26 第192回国会召集(臨時会)	TPP承認案や年金制度改革法案などについて議論、会期を14日延長し計80日に。
	28 世界経済フォーラム、世界競争力レポート	日本の総合順位は8位(昨年6位)。
	29 米、4~6月期GDP(確定、季調済、前期比)	+1.4%に上方修正。
10	3 日銀、9月全国企業短期経済観測調査(短観)	業況判断指数(DI)は大企業・製造業で+6と6月から横ばい、大企業・非製造業は+18と同1ポイント悪化。
	3 大隅良典・東京工業大栄誉教授、ノーベル賞受賞	細胞が不要なたんぱく質などを分解する「オートファジー」と呼ばれる仕組みを解明した研究で、医学生理学賞を受賞。日本の科学者の受賞は3年連続。
	4 IMF世界経済見通し(秋季)	世界経済の実質GDP成長率は16年+3.1%、17年+3.4%、日本は16年+0.5%、17年+0.6%。
	6 16年度上半期輸入車新規登録台数(速報)【日本自動車輸入組合】	16.8万台(前年同期比+7.2%)、うち外国メーカー車は14.5万台(同+5.8%)。
	7 IMF・世界銀行年次総会(~9日、ワシントンDC)	不平等の是正や脆弱国における機会向上、開発への民間資金導入手法などが焦点に。
	8 阿蘇山、爆発的噴火	中岳第1火口での爆発的噴火は36年ぶり。気象庁は噴火警戒レベルを2(火口周辺規制)から3(入山規制)に引き上げ。
	11 16年度第2次補正予算成立	総額3兆2,869億円。「事業規模28兆円超の『未来への投資を実現する経済対策』の経費を計上したもの」とするとともに、子育て支援や介護拡充の経費も盛り込む。
	19 中国、7~9月期GDP(前年同期比)	+6.7%、2期連続で横ばい。
	20 ECB、政策金利	0.00%。
	24 16年度上半期貿易統計(速報)	輸出は34兆209億円(前年同期比▲9.9%)、輸入は31兆5,630億円(同▲19.1%)、貿易収支は2兆4,580億円と2期連続の黒字。
	25 月例経済報告	「景気は、このところ弱さもみられるが、緩やかな回復基調が続いている」
	25 韓国、朴槿恵大統領公文書流出問題	朴大統領、友人の民間人女性に大統領府の資料を渡し意見を聞いていたことを認め、謝罪。国民は反発、支持率は一時5%まで低下。
	26 15年10月1日時点の人口(15年国勢調査結果)【総務省統計局】	総人口1億2,709万5千人。
27 三笠宮崇仁さま逝去	昭和天皇の末弟で天皇陛下の叔父にあたる三笠宮崇仁さまが心不全で逝去。	
27 16年度上半期パソコン国内出荷台数【電子情報技術産業協会】	出荷台数337.3万台(前年同期比▲1.0%)、2,931億円(同▲1.0%)。	
28 米、7~9月期GDP(速報、季調済、前期比)	+2.9%。	

月日	主な動き	内容・決定事項など
10	30 イタリア中部地震	8月の地震から余震が相次ぐ中、ペルー・ジャ州ノルチャの北6キロを震源とするマグニチュード6.6の地震が発生。
	31 日銀、金融政策決定会合（～11月1日）	金融政策の現状維持を決定。
	31 16年度上半期自動車輸出台数【日本自動車工業会】	四輪車輸出台数225.6万台（前年同期比+1.1%）、上半期では4年ぶりのプラス。
	31 ユーロ圏19カ国、7～9月期GDP（速報、前期比）	+0.3%。
11	1 米、FOMC（～2日）	政策金利の据え置きを決定、米経済が勢いを増しているとの認識を表明、12月の利上げの可能性を示唆。
	2 日銀、10月展望レポート	実質GDP成長率は16年度+1.0%、17年度+1.3%と、いずれも据え置き。2%の物価安定目標の達成時期を「17年度中」から「18年度頃」に先送り。
	7 COP22（～18日、モロッコ・マラケシュ）	「パリ協定」の具体的なルールを今後2年間で作ることで合意、すべての国・地域に温暖化対策を進めるよう求める「マラケシュ行動宣言」を採択。
	8 博多駅前道路陥没事故	JR博多駅前の道路に長さ約30m、幅約27m、深さ約15mの巨大な穴が出現、一時的に約800戸が停電。福岡市は地下鉄七隈線の延伸工事が原因と認め謝罪。
	8 米、大統領選	共和党ドナルド・トランプ氏が民主党ヒラリー・クリントン氏を破り当選、共和党は8年ぶりに政権を奪還。
	9 16年度上半期国際収支（速報）	経常黒字は10兆3,554億円（前年同期比+1兆7,640億円）、上半期の経常黒字が10兆円を超えるのは9年ぶり。原油安により輸入額が大幅に減少し、貿易収支は+2兆9,955億円と黒字に転換。
	14 7～9月期GDP（速報、季調済、前期比）	実質+0.5%、名目+0.2%。
	19 アジア太平洋経済協力（APEC）首脳会議（～20日、ペルー・リマ）	「質の高い成長と人間開発」を主題に、地域経済統合の推進や零細・中小企業の近代化、人材育成促進などについて議論。保護主義への対抗を盛り込んだ首脳宣言を採択。
	19 日露首脳会談（ペルー・リマ）	平和条約締結問題や経済分野の「協力プラン」などについて協議。
	25 月例経済報告	「景気は、このところ弱さもみられるが、緩やかな回復基調が続いている」
	28 OECD 経済見通し（秋季）	16年の世界経済の実質GDP成長率を+2.9%と下方修正。17年は+3.3%と据え置き。
	28 ポリビア旅客機墜落	ラミア・ポリビア航空2933便がコロンビア北西部メデジン近郊に墜落、乗客・乗員71人が死亡。
	29 米、7～9月期GDP（2次速報、季調済、前期比）	+3.2%に上方修正。
	12	7 インドネシア・スマトラ地震
7 イレンツィ首相、辞任		憲法改正をめぐる国民投票で敗北したことを受け、辞任。
8 7～9月期GDP（2次速報、季調済、前期比）		実質+0.3%、名目+0.1%。
8 ECB、政策金利		0.00%。

月日	主な動き	内容・決定事項など
12	9 TPP および関連法成立	参院本会議にて賛成多数で可決、承認、成立。トランプ次期米大統領が離脱を表明する中、安倍首相は実現に向け米側へ働きかけを継続する意向。
	9 韓国、朴槿恵大統領弾劾訴追案可決	朴氏は職務停止に。憲法裁判所が180日以内に罷免が妥当か審判を下す。
	10 トルコ、連続爆破テロ	イスタンブールのサッカー場前で自動車爆弾が爆発、約45秒後に近くの公園で2度目の爆発。少なくとも38人が死亡、155人が負傷。
	13 沖縄、オスプレイ不時着水	米海兵隊の新型輸送機MV22オスプレイが沖縄本島東海岸の浅瀬に不時着。政府は在日米軍にオスプレイの飛行停止を申し入れ。
	13 米、FOMC（～14日）	1年ぶりの利上げで、政策金利の誘導目標を年「0.25～0.50%」から「0.50～0.75%」に。来年の利上げは「年3回」になると示唆。
	14 日銀、12月全国企業短期経済観測調査（短観）	業況判断指数（DI）は大企業・製造業で+10と9月から4ポイント改善、大企業・非製造業は+18と同横ばい。
	14 年金制度改革法成立	物価が上昇した場合でも現役世代の賃金が下がれば年金の支給額を減らす仕組みを導入、21年度から実施。
	15 カジノ法成立	カジノを含む統合型リゾート（IR）の整備を進めるための基本法。自民党と日本維新の会の賛成多数で可決、成立。
	15 日露首脳会談（～16日、山口、東京）	北方領土での共同経済活動に関する交渉を進めることで合意、これらが「平和条約問題に関する日露の立場を害するものではない」と明記したプレス向け声明を発表。
	19 日銀、金融政策決定会合（～20日）	金融政策の現状維持を決定。
	19 ドイツ、トラック暴走テロ	ベルリン中心部で大型トラックが広場のクリスマス市（いち）に突入し暴走。12人が死亡。
	21 月例経済報告	「景気は、一部に改善の遅れもみられるが、緩やかな回復基調が続いている」
	22 糸魚川市駅北大火（～23日）	約4万平方メートルを焼き、約150棟の住宅や店舗が焼失した大規模火災。出火から約30時間後に鎮火。
	22 米、7～9月期GDP（確定、季調済、前期比）	+3.5%に上方修正。
	26 安倍首相、真珠湾訪問（～27日、ハワイ）	真珠湾攻撃の犠牲者を埋葬した国立太平洋記念墓地、同攻撃で戦死した日本人兵士らの慰霊碑があるマキキ日本人墓地などを訪問。翌日、オバマ米大統領と真珠湾・アリゾナ記念館で献花し黙とう。演説で不戦の決意を表明。
	30 東京証券取引所大納会	日経平均株価の終値は1万9,114円37銭、5年連続で前年末を上回る。
30 NY 株式市場年末値	ダウ工業株（30種平均）の終値は前日比57.18ドル安の1万9,762ドル60セント。	